

四半期報告書

(第59期第2四半期)

中央ビルト工業株式会社

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	3
3 【関係会社の状況】	3
4 【従業員の状況】	3
第2 【事業の状況】	4
1 【生産、受注及び販売の状況】	4
2 【事業等のリスク】	5
3 【経営上の重要な契約等】	5
4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	5
第3 【設備の状況】	6
第4 【提出会社の状況】	7
1 【株式等の状況】	7
2 【株価の推移】	9
3 【役員の状況】	9
第5 【経理の状況】	10
1 【四半期財務諸表】	11
2 【その他】	21
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	22

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年11月13日

【四半期会計期間】 第59期第2四半期(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

【会社名】 中央ビルト工業株式会社

【英訳名】 CHUO BUILD INDUSTRY CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 西本 安秀

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋富沢町11番12号

【電話番号】 03(3661)9631(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理統括本部長 安達 圭朗

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋富沢町11番12号

【電話番号】 03(3661)9631(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理統括本部長 安達 圭朗

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
中央ビルト工業株式会社 関西支店
(大阪市中央区高麗橋1丁目5番9号)
中央ビルト工業株式会社 中部支店
(愛知県名古屋市中区新栄2丁目1番9号)
中央ビルト工業株式会社 九州支店
(福岡県糟屋郡須恵町大字上須恵字桜原1515番地5)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

提出会社の経営指標等

回次	第58期 前第2四半期 累計期間	第59期 当第2四半期 累計期間	第58期 前第2四半期 会計期間	第59期 当第2四半期 会計期間	第58期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 7月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (千円)	4,150,785	4,253,998	2,250,473	2,403,574	8,561,447
経常利益 (千円)	104,204	425,510	58,151	315,537	226,182
四半期(当期)純利益 (千円)	87,381	274,036	43,809	165,739	243,032
持分法を適用した 場合の投資利益 (千円)	—	—	—	—	—
資本金 (千円)	—	—	275,500	275,500	275,500
発行済株式総数 (千株)	—	—	20,687	20,687	20,687
純資産額 (千円)	—	—	1,654,536	2,038,888	1,804,601
総資産額 (千円)	—	—	8,753,401	8,891,272	8,572,433
1株当たり純資産額 (円)	—	—	80.43	99.18	87.76
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	4.25	13.33	2.13	8.06	11.81
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	—	—	—	—	—
1株当たり配当額 (円)	—	—	—	—	2.00
自己資本比率 (%)	—	—	18.9	22.9	21.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	228,020	472,066	—	—	608,273
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△1,870,558	△230,163	—	—	△1,852,142
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,659,993	△165,224	—	—	1,286,557
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	—	—	292,970	394,882	318,203
従業員数 (人)	—	—	91	87	90

(注) 1. 売上高には、消費税等は含まれていない。

2. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社がないため記載していない。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。

4. 当社は四半期連結財務諸表を作成していないので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載していない。

2 【事業の内容】

当第2四半期会計期間における、事業の内容に重要な変更はない。また、関係会社の異動はない。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期会計期間において、関係会社の異動はない。

4 【従業員の状況】

提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(人)	87 [35]
---------	---------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時従業員数は、当第2四半期会計期間の平均人員を [] 外数で記載している。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期会計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりである。

区分	当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比(%)
仮設機材事業 (千円)	773,140	170.8
鉄構事業 (千円)	706,532	83.4
合計	1,479,672	113.9

- (注) 1. 金額は販売価格による。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれていない。

(2) 受注状況

当第2四半期会計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりである。

区分	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
仮設機材事業	1,583,358	104.9	730,000	98.0
鉄構事業	796,915	77.7	398,000	95.0
合計	2,380,274	93.9	1,128,000	96.9

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれていない。

(3) 販売実績

当第2四半期会計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりである。

区分	当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	前年同四半期比(%)
仮設機材事業		
機材営業部門(販売) (千円)	957,522	145.0
機材営業部門(賃貸) (千円)	670,178	96.4
開発営業部門 (千円)	93,957	133.7
計	1,721,658	120.8
鉄構事業		
鉄構部門 (千円)	681,915	82.7
合計	2,403,574	106.8

- (注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりである。

相手先	前第2四半期会計期間		当第2四半期会計期間	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
旭化成ホームズ株式会社	731,172	32.5	596,268	24.8
太平産業株式会社	—	—	357,927	14.9

- 2 上記の金額には、消費税等は含まれていない。
3 太平産業株式会社は、前第2四半期会計期間において販売実績の総販売実績に対する割合が10%未満のため、記載していない。

2 【事業等のリスク】

当第2四半期会計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はない。

なお、重要事象等は存在していない。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社が判断したものである。

(1) 業績の状況

当第2四半期会計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の一部に持ち直しの兆しが見られたが、その一方で急激な円高が輸出関連の企業業績に大きな影響を与える懸念が出てきている。雇用情勢は、7月の完全失業率5.7%と過去最悪を記録、8月に5.5%に回復するも引き続き厳しい状況であり、消費の先行きには不透明感が強い。また、企業の設備投資も、厳しい収益状況を背景に大幅に減少しており、依然として厳しい経済環境が続いている。

当社が属する仮設業界においては、労働安全衛生規則の法改正が施行され、墜落防止処置の為に「下棧」や「幅木」等の設置の義務化により、安全仮設機材の需要が拡大しているものの、主要顧客先の建設業界では、民間の建築工事受注が低迷し、厳しい状況が続いている。また、当社の一の方の柱である鉄構事業が属する住宅業界では、雇用環境の悪化が影響し、住宅着工戸数の下げ止まりの兆しが見えず、依然低迷を続けている。

このような経済環境の中にあり、当第2四半期会計期間の業績は売上高は24億3百万円（前年同四半期比6.8%増）と増収になり、売上総利益は6億3千9百万円（前年同四半期比32.7%増）と増益になった。前年同四半期比で増収増益となった主な要因は、平成21年6月1日の厚生労働省による労働安全衛生規則改正に伴い、安全確保強化の為に安全仮設機材の需要急増を受け当社主力商品「アルミスカイガード」をはじめとする安全仮設機材の製造・販売が好調であったこと、生産工程見直しによる製造コスト及び経費の削減を行ったことが挙げられる。

また、営業利益3億3千9百万円（前年同四半期比207.2%増）、経常利益3億1千5百万円（前年同四半期比442.6%増）、四半期純利益1億6千5百万円（前年同四半期比278.3%増）とそれぞれ大幅増益となった。

前年同四半期比で増益となった主な要因は、本業が好調であったこと以外に、千葉・福岡土地買戻し及び本社移転による地代家賃の削減、また、前期はシンジケートローン組成関連の一過性費用があったことが挙げられる。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、第1四半期会計期間末に比べ6千万円減少の3億9千4百万円となった。活動別のキャッシュ・フローの状況は以下のとおりである。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

主な増加要因として、税引前四半期純利益3億1千5百万円、減価償却費（リース資産含む）の計上1億2百万円、棚卸資産の減少による9千4百万円が挙げられる。

主な減少要因として、売上債権の増加による3億2千8百万円が挙げられる。

以上の要因により営業活動によるキャッシュ・フローは、2億3千4百万円の収入(前年同四半期は1億6千8百万円の収入)となった。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主な減少要因として、貸与資産（貸付機材）他を取得したことによる1億7千2百万円の支出が挙げられる。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億7千3百万円の支出(前年同四半期は18億1千2百万円の支出)となった。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入れは、約定弁済による1億1千7百万円の支出、リース債務の返済4百万円の支出が挙げられる。

以上の要因により財務活動によるキャッシュ・フローは、1億2千2百万円の支出(前年同四半期は16億2千5百万円の収入)となった。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期会計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題について、重要な変更はない。また、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はない。

(4) 研究開発活動

当第2四半期会計期間における当社の研究開発活動に係る費用の総額は2千3百万円である。なお、当第2四半期会計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はない。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期会計期間において、主要な設備に重要な異動はない。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設計画等はない。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,687,400	20,687,400	東京証券取引所 (市場第2部)	単元株式数は1,000株である。
計	20,687,400	20,687,400	—	—

(注) 発行済株式のうち、6,637,500株は、現物出資(借入金531百万円の株式化)により発行されたものである。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項なし。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項なし。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日	—	20,687,400	—	275,500	—	526,043

(5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合 (%)
アルインコ株式会社	大阪府高槻市三島江1-1-1	6,699	32.38
新日本製鐵株式会社	東京都千代田区丸の内2-6-1	965	4.66
上田 直彦	神奈川県横浜市青葉区	402	1.94
中央三井信託銀行株式会社	東京都港区芝3-33-1	341	1.64
木竜 ゆり子	新潟県新潟市北区	252	1.21
丸藤シートパイル株式会社	東京都中央区日本橋本町1-6-5	250	1.20
米本 修治	山口県岩国市	247	1.19
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1-2-10	242	1.16
東川内 常幸	秋田県秋田市	175	0.84
中央ビルト工業株式会社	東京都中央区日本橋富沢町11-12	130	0.63
計	—	9,703	46.90

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 130,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,215,000	20,215	—
単元未満株式	普通株式 342,400	—	—
発行済株式総数	20,687,400	—	—
総株主の議決権	—	20,215	—

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が、1,000株(議決権の数1個)含まれている。

② 【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
中央ビルト工業株式会社	東京都中央区日本橋 富沢町11番12号	130,000	—	130,000	0.6
計	—	130,000	—	130,000	0.6

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	64	79	86	84	95	87
最低(円)	55	59	66	71	77	71

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第2部におけるものである。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までにおいて、役員の異動はない。

第5 【経理の状況】

1 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号。以下「四半期財務諸表等規則」という。）に基づいて作成している。

なお、前第2四半期会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)は、改正前の四半期財務諸表等規則に基づき、当第2四半期会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)は、改正後の四半期財務諸表等規則に基づいて作成している。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び前第2四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期財務諸表については、監査法人トーマツにより四半期レビューを受け、当第2四半期会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び当第2四半期累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期財務諸表については、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けている。

なお、従来から当社が監査証明を受けている監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって有限責任監査法人トーマツとなった。

3 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がないため、四半期連結財務諸表は作成していない。

1 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	540,316	370,251
受取手形	1,256,709	987,603
売掛金	1,221,030	1,217,018
製品	447,869	492,460
仕掛品	152,358	152,893
原材料及び貯蔵品	285,347	280,535
繰延税金資産	56,442	15,390
その他	15,025	62,138
貸倒引当金	△10,170	△8,382
流動資産合計	3,964,930	3,569,909
固定資産		
有形固定資産		
建物	1,870,652	1,871,802
減価償却累計額	△1,465,191	△1,447,440
建物(純額)	405,461	424,361
構築物	617,084	617,084
減価償却累計額	△559,703	△552,957
構築物(純額)	57,381	64,126
機械及び装置	2,255,211	2,233,674
減価償却累計額	△2,065,265	△2,042,981
機械及び装置(純額)	189,946	190,693
貸与資産	8,662,130	8,715,154
減価償却累計額	△7,984,496	△8,070,639
貸与資産(純額)	677,634	644,515
車両運搬具	108,515	108,515
減価償却累計額	△105,802	△105,259
車両運搬具(純額)	2,712	3,255
工具、器具及び備品	266,264	240,938
減価償却累計額	△230,542	△223,893
工具、器具及び備品(純額)	35,721	17,044
土地	3,318,820	3,318,820
リース資産	121,799	110,909
減価償却累計額	△13,587	△6,235
リース資産(純額)	108,212	104,674
有形固定資産合計	4,795,890	4,767,492
無形固定資産	9,602	10,872

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	21,710	18,674
破産更生債権等	25,802	25,916
繰延税金資産	—	1,070
その他	99,139	204,414
貸倒引当金	△25,802	△25,916
投資その他の資産合計	120,849	224,158
固定資産合計	4,926,342	5,002,523
資産合計	8,891,272	8,572,433
負債の部		
流動負債		
支払手形	913,885	973,556
買掛金	786,674	788,901
短期借入金	1,600,000	1,480,000
1年内返済予定の長期借入金	469,000	469,000
リース債務	18,266	16,633
未払法人税等	197,052	6,804
賞与引当金	35,872	35,508
役員賞与引当金	8,400	16,800
その他	220,337	237,505
流動負債合計	4,249,487	4,024,711
固定負債		
長期借入金	2,401,900	2,636,400
長期預り金	1,941	1,941
リース債務	91,478	90,852
繰延税金負債	165	—
退職給付引当金	86,404	—
役員退職慰労引当金	21,007	13,927
固定負債合計	2,602,896	2,743,120
負債合計	6,852,384	6,767,831

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	275,500	275,500
資本剰余金	526,043	526,043
利益剰余金	1,250,049	1,017,138
自己株式	△12,945	△12,521
株主資本合計	2,038,647	1,806,160
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	240	△1,559
評価・換算差額等合計	240	△1,559
純資産合計	2,038,888	1,804,601
負債純資産合計	8,891,272	8,572,433

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,150,785	4,253,998
売上原価	3,262,728	3,208,918
売上総利益	888,057	1,045,079
販売費及び一般管理費	※1 714,804	※1 574,069
営業利益	173,253	471,010
営業外収益		
受取利息	2,095	1,629
受取配当金	1,101	1,101
受取地代家賃	3,472	2,329
雑収入	639	457
営業外収益合計	7,308	5,517
営業外費用		
支払利息	32,378	44,868
シンジケートローン手数料	37,133	—
雑支出	6,844	6,149
営業外費用合計	76,356	51,017
経常利益	104,204	425,510
特別利益		
固定資産売却益	137	—
受取補償金	14,687	—
特別利益合計	14,824	—
特別損失		
固定資産除売却損	17,208	9
臨時損失	※2 12,500	—
その他	—	※3 640
特別損失合計	29,708	649
税引前四半期純利益	89,321	424,860
法人税、住民税及び事業税	1,940	191,876
法人税等調整額	—	△41,052
法人税等合計	1,940	150,824
四半期純利益	87,381	274,036

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,250,473	2,403,574
売上原価	1,768,519	1,764,088
売上総利益	481,953	639,485
販売費及び一般管理費	※1 371,551	※1 300,382
営業利益	110,402	339,103
営業外収益		
受取利息	1,254	913
受取配当金	1,056	—
受取地代家賃	1,736	1,164
雑収入	479	296
営業外収益合計	4,526	2,375
営業外費用		
支払利息	16,238	24,091
シンジケートローン手数料	36,633	—
雑支出	3,904	1,849
営業外費用合計	56,777	25,941
経常利益	58,151	315,537
特別損失		
固定資産除売却損	871	9
臨時損失	※2 12,500	—
特別損失合計	13,371	9
税引前四半期純利益	44,779	315,527
法人税、住民税及び事業税	970	190,839
法人税等調整額	—	△41,052
法人税等合計	970	149,787
四半期純利益	43,809	165,739

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	89,321	424,860
減価償却費	206,680	197,681
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	31,433	1,673
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,137	363
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,100	△8,400
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,185	7,080
支払利息	32,378	44,868
受取利息及び受取配当金	△3,196	△2,730
売上債権の増減額 (△は増加)	555,831	△366,504
割引手形の増減額 (△は減少)	△191,137	—
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△276,701	40,312
仕入債務の増減額 (△は減少)	△181,072	△52,702
その他	3,176	56,167
小計	265,662	342,670
利息及び配当金の受取額	3,196	2,730
退職年金資産の返還による収入	—	178,763
利息の支払額	△32,918	△45,238
法人税等の支払額	△7,919	△6,859
営業活動によるキャッシュ・フロー	228,020	472,066
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,880,305	△270,558
有形固定資産の売却による収入	16,022	—
その他	△6,275	40,395
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,870,558	△230,163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	300,000	120,000
長期借入れによる収入	1,780,000	—
長期借入金の返済による支出	△356,900	△234,500
リース債務の返済による支出	—	△9,175
配当金の支払額	△61,759	△41,125
その他	△1,346	△423
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,659,993	△165,224
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	17,455	76,678
現金及び現金同等物の期首残高	275,514	318,203
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 292,970	※ 394,882

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項なし。

【四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

該当事項なし。

【表示方法の変更】

当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
(四半期損益計算書関係)	前第2四半期累計期間において営業外費用に「シンジケートローン手数料」を表示していたが、金額に重要性がないため当第2四半期累計期間より「雑支出」に含めることとした。 なお、当第2四半期累計期間の営業外費用の「雑支出」に含まれる「シンジケートローン手数料」は2,500千円である。

当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	
(四半期損益計算書関係)	前第2四半期会計期間において営業外費用に「シンジケートローン手数料」を表示していたが、金額に重要性がないため当第2四半期会計期間より「雑支出」に含めることとした。 なお、当第2四半期会計期間の営業外費用の「雑支出」に含まれる「シンジケートローン手数料」は1,250千円である。

【簡便な会計処理】

項目	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
1 一般債権の貸倒見積高の算定方法	当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定している。
2 棚卸資産の評価方法	棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却可能価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっている。

【四半期財務諸表の作成に特有の会計処理】

該当事項なし。

【追加情報】

該当事項なし。

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

該当事項なし。

(四半期損益計算書関係)

第2四半期累計期間

前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)																				
<p>※1 販売費及び一般管理費のうち引当金繰入額、主要な費目、及びそれぞれの金額は次のとおりである。</p> <table> <tr> <td>従業員給料及び手当 (従業員賞与含む)</td> <td>227,050千円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>31,433</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>24,327</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>8,900</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>7,185</td> </tr> </table> <p>※2 名古屋工場の地盤沈下に伴う臨時損失12,500千円である。</p>	従業員給料及び手当 (従業員賞与含む)	227,050千円	貸倒引当金繰入額	31,433	賞与引当金繰入額	24,327	役員賞与引当金繰入額	8,900	役員退職慰労引当金繰入額	7,185	<p>※1 販売費及び一般管理費のうち引当金繰入額、主要な費目、及びそれぞれの金額は次のとおりである。</p> <table> <tr> <td>従業員給料及び手当 (従業員賞与含む)</td> <td>213,317千円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>1,673</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>24,119</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>8,400</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>7,080</td> </tr> </table> <p>※3 取引先に設置されていた当社所有の機械及び装置の引き取りの際に発生した原状回復費用である。</p>	従業員給料及び手当 (従業員賞与含む)	213,317千円	貸倒引当金繰入額	1,673	賞与引当金繰入額	24,119	役員賞与引当金繰入額	8,400	役員退職慰労引当金繰入額	7,080
従業員給料及び手当 (従業員賞与含む)	227,050千円																				
貸倒引当金繰入額	31,433																				
賞与引当金繰入額	24,327																				
役員賞与引当金繰入額	8,900																				
役員退職慰労引当金繰入額	7,185																				
従業員給料及び手当 (従業員賞与含む)	213,317千円																				
貸倒引当金繰入額	1,673																				
賞与引当金繰入額	24,119																				
役員賞与引当金繰入額	8,400																				
役員退職慰労引当金繰入額	7,080																				

第2四半期会計期間

前第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)																				
<p>※1 販売費及び一般管理費のうち引当金繰入額、主要な費目、及びそれぞれの金額は次のとおりである。</p> <table> <tr> <td>従業員給料及び手当 (従業員賞与含む)</td> <td>98,469千円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>1,131</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>24,327</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>4,900</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>3,540</td> </tr> </table> <p>※2 名古屋工場の地盤沈下に伴う臨時損失12,500千円である。</p>	従業員給料及び手当 (従業員賞与含む)	98,469千円	貸倒引当金繰入額	1,131	賞与引当金繰入額	24,327	役員賞与引当金繰入額	4,900	役員退職慰労引当金繰入額	3,540	<p>※1 販売費及び一般管理費のうち引当金繰入額、主要な費目、及びそれぞれの金額は次のとおりである。</p> <table> <tr> <td>従業員給料及び手当 (従業員賞与含む)</td> <td>94,527千円</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td>737</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td>24,119</td> </tr> <tr> <td>役員賞与引当金繰入額</td> <td>4,200</td> </tr> <tr> <td>役員退職慰労引当金繰入額</td> <td>3,540</td> </tr> </table>	従業員給料及び手当 (従業員賞与含む)	94,527千円	貸倒引当金繰入額	737	賞与引当金繰入額	24,119	役員賞与引当金繰入額	4,200	役員退職慰労引当金繰入額	3,540
従業員給料及び手当 (従業員賞与含む)	98,469千円																				
貸倒引当金繰入額	1,131																				
賞与引当金繰入額	24,327																				
役員賞与引当金繰入額	4,900																				
役員退職慰労引当金繰入額	3,540																				
従業員給料及び手当 (従業員賞与含む)	94,527千円																				
貸倒引当金繰入額	737																				
賞与引当金繰入額	24,119																				
役員賞与引当金繰入額	4,200																				
役員退職慰労引当金繰入額	3,540																				

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)												
<p>※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在) (千円)</p> <table> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>356,055</td> </tr> <tr> <td>担保に供している別段預金</td> <td>△63,084</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td>292,970</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	356,055	担保に供している別段預金	△63,084	現金及び現金同等物	292,970	<p>※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在) (千円)</p> <table> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td>540,316</td> </tr> <tr> <td>担保に供している別段預金</td> <td>△145,434</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td>394,882</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	540,316	担保に供している別段預金	△145,434	現金及び現金同等物	394,882
現金及び預金勘定	356,055												
担保に供している別段預金	△63,084												
現金及び現金同等物	292,970												
現金及び預金勘定	540,316												
担保に供している別段預金	△145,434												
現金及び現金同等物	394,882												

(株主資本等関係)

当第2四半期会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期会計期間末
普通株式(株)	20,687,400

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期会計期間末
普通株式(株)	130,495

3 新株予約権等に関する事項

該当事項なし。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年6月26日 定時株主総会	普通株式	41,125	2	平成21年3月31日	平成21年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当事業年度の開始の日から当第2四半期会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項なし。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がない。

(有価証券関係)

有価証券の四半期貸借対照表計上額その他の金額は、前事業年度の末日と比較して著しい変動がない。

(デリバティブ取引関係)

当社はデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はない。

(ストック・オプション等関係)

該当事項なし。

(企業結合等関係)

該当事項なし。

(持分法損益等)

該当事項なし。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)		前事業年度末 (平成21年3月31日)	
1株当たり純資産額	99.18円	1株当たり純資産額	87.76円

2 1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額

第2四半期累計期間

前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	
1株当たり四半期純利益金額	4.25円	1株当たり四半期純利益金額	13.33円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。
2. 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりである。

項目	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	87,381	274,036
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	87,381	274,036
期中平均株式数(千株)	20,580	20,559

第2四半期会計期間

前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 2.13円	1株当たり四半期純利益金額 8.06円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 —円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額 —円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していない。
2. 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりである。

項目	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	43,809	165,739
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	43,809	165,739
期中平均株式数(千株)	20,575	20,557

(重要な後発事象)

該当事項なし。

(リース取引関係)

該当事項なし。

2 【その他】

該当事項なし。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月12日

中央ビルト工業株式会社
取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 桃 崎 有 治 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 井 上 雅 彦 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 郷 右 近 隆 也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている中央ビルト工業株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの第58期事業年度の第2四半期会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、中央ビルト工業株式会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月9日

中央ビルト工業株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 井上 雅彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 郷右近 隆也 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている中央ビルト工業株式会社の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの第59期事業年度の第2四半期会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び第2四半期累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、中央ビルト工業株式会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間の経営成績並びに第2四半期累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。